

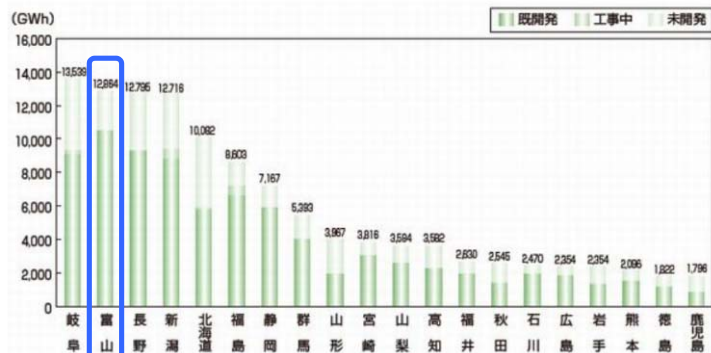
## ④農業用水を利用した再生可能エネルギーの活用

【富山県】

- 豊かな包蔵水力を生かし農業用水を利用した小水力発電所の整備を推進。
- 災害時に電力供給ネットワークの機能が停止した際の補助的な電力供給機能効果を期待。

## 地域概要

- 富山県は、標高3,000m級の立山連峰から水深1,000mの富山湾に至る高低差4,000mのダイナミックな地形を有し、その地形と豊かな水資源から包蔵水力（水力発電として利用可能な水力エネルギー量）は全国第2位を誇る。
- 明治時代から全国に先駆け、豊富な水量を活用した小水力発電が県や電力会社で導入されている。



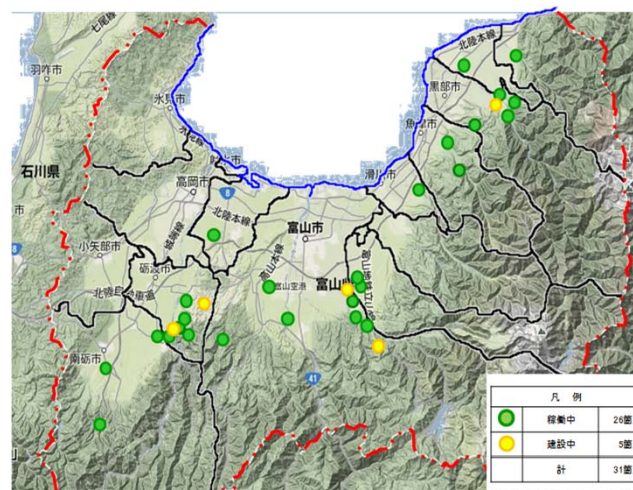
水力エネルギーの利用可能量  
(出典：スマートジャパン エネルギー列島2014版※一部加筆)

## 対策の内容・結果

## 【発電所の整備を推進】

- 基幹農業用水路（341路線）において、発電所の適地調査を実施（H24）
- 地域用水環境整備事業を活用し、平成33年度までに農業用水を利用した小水力発電所を33箇所程度整備予定。

- 災害時に電力供給ネットワークの機能が停止した際の補助的な電力供給機能を効果を発揮することも期待。
- また、小水力発電により、維持管理費の節減等、土地改良区の体質強化を図る。



農業用水を利用した小水力発電  
整備状況 (出典：富山県提供資料)



整備された発電所  
(出典：富山県提供資料)